6 章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

6章 鋼製橋脚設置工

6.1 鋼製橋脚設置工

1. 適用

陸上での鋼製橋脚設置工事に適用する。

2. 数量算出項目

鋼製橋脚の基数と架設鋼材質量、地組鋼材質量、現場溶接延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

区分	BIM/CIM	属性情報			
項目	モデル	規格	単 位	数量	備考
アンカーフレーム架設	II	×	基		
アンカーフレームグラウト注入	I	0	m³		
鋼 製 橋 脚 地 組	I	×	t		
鋼製橋脚地組連結	II	×	箇所		
鋼 製 橋 脚 架 設	I	×	Т		
鋼製橋脚架設ブロック	П	×	フ゛ロック		
鋼 製 橋 脚	II	×	脚		
鋼製橋脚膨張モルタル注入	I	0	m³		
鋼製橋脚無収縮モルタル注入	1	\circ	m³		
現 場 溶 接	II	×	m		平均板厚 t=mm
ビード仕上げ	II	×	m		
トルシアボルト	II	0	本		
足場	В	×	掛㎡		

BIM/CIM モデルによる数量算出方法は、鋼構造よびコンクリート構造を参考とする

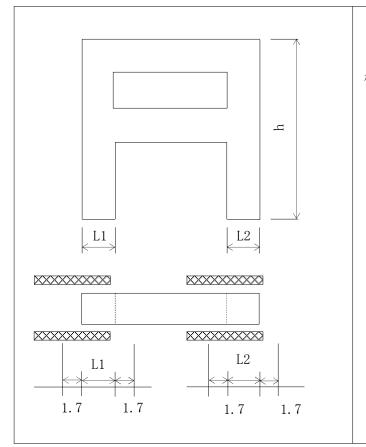
4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

- (1) アンカーフレームモルタル注入量はアンカーフレーム1基ごとに算出する。
- (2) 鋼製橋脚膨張モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (3) 鋼製橋脚無収縮モルタル注入は総量を算出する。なお、脚毎の内訳も算出する。
- (4) 現場溶接はビード仕上げの有無に関わらず総延長を算出する。
- (5) ビード仕上げは必要な場合のみ算出するものとし、総延長を算出する。
- (6) 足場

足場は「第1編(共通編)11章仮設工11.4足場工」によるものとする。

1) 足場面積の算出は、下記のとおりとする。なお現場条件、橋脚の構造および施工方法等でこれによりがたい場合は、別途算出するものとする。



- 1. 枠組足場を標準とする。
- 2. 足場面積(掛㎡)

枠組= $\{2 \times (L1+3.4)\} \times h$ + $\{2 \times (L2+3.4)\} \times h$